

MRI対応ストレッチャー モデル MRS-1



1 - 安全情報

製品に関するお問合せ先

ファーノ・ジャパン・インク

〒101-0032
東京都千代田区岩本町1-9-5 FKビル4階
TEL 03-5820-4649
FAX 03-5820-4669
Email hpinfo@ferno.com
URL www.ferno-jp.com

免責事項

本書は、本器の基本的な操作方法、メンテナンスについて記載していますが、運用の全てを網羅している訳ではありません。本器を正しく安全に使用することは、使用者の責任において行なってください。その他の安全性に関する対策は、使用者が国内規則に従って実施してください。

使用する前に正しい操作方法について、トレーニングを受講してください。

また、本書はいつでも参照できるように大切に保管してください。本器を譲渡する際には、次の使用者に本書も譲渡してください。

保証

弊社規定により、ご購入日より1年間の保証を致します。

取扱説明書

追加で本書が必要な場合は、弊社または弊社代理店までご連絡ください。

シリアルナンバー

本器には、製造番号（シリアルナンバー）が付いていません。

製造番号は、本書の下欄に記入してください。

お問い合わせの際には、モデル名と製造番号をご連絡下さい。

シリアルナンバー _____

1.1 - 注意

注意は、負傷や死亡を招く恐れのある事項を含みます。

1.2 - 重要事項

重要事項は、重要な操作やメンテナンスを示しています。従わなかった場合、本器や周囲に損傷及び損害を与える恐れがありますので、必ずご確認ください。



注意

- 不適切な使用は、怪我の原因となります。本書に記載された目的、使用方法に従い、使用してください。
- 不適切なパーツの取り付けや修理は、事故、破損の原因となります。メーカーが承認した部品のみを使用して、修理を行ってください。
- ストレッチャーの改造は事故、破損の原因となります。本書に従って使用してください。

2 - トレーニング

2.1 - 技能

操作者は、以下の要件を満たしていること

- フレーム等を両手でしっかり掴む事ができること。
- 安全に操作するための体力、バランス感覚を備えていること。
- 操作中、安全を確認する能力と、危険を回避する反射神経を持っていること。
- 本書に記載された手順を読み、理解し、それに従うことができること。
-

2.2 - トレーニング

操作者は、以下を実施すること

- 操作に関する十分なトレーニングを受けること。
- 本書の指示を読み、理解すること。
- 使用方法について、模擬的な条件下で練習すること。

3 - 製品

3.1 - 仕様

主な仕様		
最大荷重 (kg)		182
非磁性体/アルミ		3テスラ
非磁性体割合		98%
長さ (mm)		2,010
幅 (mm)		560
高さ (mm)	最高位	920
	最低位	610
ホイール	直径 (inch)	5
重量 (kg)		35



注意

- トレーニングを受けていない操作者が使用すると、怪我をしたり、怪我をさせたりする恐れがあります。トレーニングを受けた操作者のみが使用してください。
- 重体重の患者を乗せる場合には、操作に係る人数を増やして安全確保に十分注意して下さい。



注意

- 最大耐荷重を超えないようにしてください。

4 - 使用方法

4.1 - 高さ調節

ベッド面の高さ調節は、エレベーターハンドルで行います。ハンドルが格納されている場合は、ヒンジスリーブ（外パイプ）を手前に引いて、引き出して下さい。

高さを上げる場合は右回り、下げる場合は左回りに回して調節します。ベッドは、いずれの位置でも止まります。



ハンドルを格納する場合は、ヒンジスリーブを手前に引き、ハンドルを折り畳んで下さい。



注意

- 高さ調節に伴い、Xフレームが上下します。各フレームの可動部には手を触れないで下さい。指を挟む恐れがあります。

4.2 - ホイールロック

4輪トータルロックシステムを採用し、レバーを軽く踏むだけで4輪を同時にロックする事ができます。

患者を乗せたり、降ろしたりする時。使用しない時は、必ずホイールをロックして下さい。



ロックを解除する時はレバーを起して下さい。



注意

- 移動時以外はブレーキを掛けてください。また、ブレーキの点検を適時行ってください。

4 -使用方法

4.3 -MRI撮影

移動時以外はブレーキを掛けてください。

撮影時は装置より出来るだけ離してください。また、MR室内でのガントリー部への走行は、エレベーターハンドル部を後方にして行ってください。

ガントリー側

エレベーター
ハンドル



← 走行方向

4.4 -サイドアーム

サイドアームは可倒式になっています。倒す時はサイドアームロックピンを引き、ロックを解除して下さい。起こす時は、元の位置で自動的にロックされますので、ピンを引かずにサイドアームを起こして下さい



注意

- 磁場の発生する場所に保管しないでください。
- 長期間にわたりMRI室の磁場内で使用すると、磁性化され磁場内での使用に支障をきたす場合があります。適時、点検を行ってください。
- ブレーキの点検を適時行ってください。



注意

- 患者を乗せている時は、必ずサイドアームを起こして使用して下さい。

4 - 使用方法

4.5 - ガートル架

ガートル架は、サイドアームのに取り付ける事ができます。

マウントキャスティングをストレッチャーのフレームに取り付け、ガートル架を差し込んだ後、ネジを締めて固定して下さい。



注意

- ネジを締める際は、付属のネジロック剤を少量塗布してください。ロック剤は硬化した後も緩めることができます。
- 取り付けネジを極度に締め過ぎるとマウントキャスティングの中のネジ山が破損し、ネジが破損する場合がありますので、注意してください。
- ガートル架の接触に注意してください。根本部分の緩みの原因となります。

5 -メンテナンス

5.1 -メンテナンススケジュール

本器は定期的なメンテナンスが必要です。メンテナンススケジュールを設定してください。下表は、メンテナンスの最短頻度を表しています。

薬剤を使用する場合は、メーカーの指示に従うとともに、安全性データシートをお読みください。

最短頻度	毎使用時	必要に応じて	毎月
消毒	●		
洗浄		●	
点検		●	●
潤滑		●	

5.2 -洗浄

定期的な洗浄は、感染リスクを低減し、機器を最適な状態で機能させるために有効です。

表面は中性洗剤等を使用して水洗いした後、乾いた布で水気を完全に拭き取ってください。また、自動車用のワックスをコーティングしておくことでツヤが長持ちします。

5.3 -消毒

表面を消毒剤で拭いてください。消毒液の塗布方法と接触時間については、消毒液メーカーの指示に従ってください。

5.4 -注油

注油の前に、本器を洗浄、消毒してください。

点検やメンテナンスの度、あるいは可動部を円滑に動作させるため、可動部および摩擦箇所にグリースを注油してください。



注意

- パーツの破損や不具合が生じた場合は、修理が完了するまで絶対に使用しないで下さい。
- 不適切なメンテナンスは、事故の原因となります。本書に従ってメンテナンスを行ってください。



注意

- 強酸性、強アルカリ性の洗浄剤は、本体を変色させる恐れがありますので使用しないで下さい。
- 使用時の血液感染、その他の感染症リスクを低減するため、本書に従って消毒、洗浄を行ってください。

FERNO®

